

好奇心広がるビジュアル資料 〈国際理解・環境・歴史社会〉

「図説 中国文化百華」 第1期全20巻

既刊3冊、A5判、上製、平均208頁

各3200円

国際理解のテーマとして中国が取り上げられること(下写真)や、「角は鹿に似て鹿に似ず、蹄は牛に似て牛に似ず、頭は馬に似て馬に似ず、尾は驢に似て驢に似ず」という意味が「図説 中国文化百華」だ。なによりも日中の諸機種の動物に似ていない。閉・研究者の協力を得て初めて可能になった豊富な写真と図版が、調べ学習には格好の素材になっている。

たとえば第五巻「しじまに生きる野生動物たち」(今泉忠明著)では、凍土から砂漠・熱帯林までの広い国土に棲む六〇種を紹介。トラやパンダはもちろぬ、見事な角を持つ世界最

大の野生ヒツジ「アルガリ」が二十世紀になって明らかになり、奇跡の復活を果たしたという。野生を捨て人間と共存すること生き残り、た畜畜に飼われてきた家畜に呼び人を食らうものあり、さらにはた奇妙な形態を呈しているだけのもあり。ときには宗教性や政治性を象徴し、ときには人々の願いや自然観・社会観を反映したイメージの、初めての体系的解説である。



人間を裁く一角獣の一種

この二冊を併せて見れば、中国の広大な自然が育んだ動物相とその中で人々が培った豊かなイメージ世界が実感できるだろう。他にも民俗・食文化・演劇・書など多彩なテーマで続刊が予定されている。各巻約二〇〇点から、多いものでは五〇〇点に及ぶ図版・写真を収録したこの全集は、一味ちがう国際理解学習にうってつけだ。

「百の知恵双書」 第1期全20巻

既刊3冊、B5変形判、上製

各2800円、OM出版株式会社発行

綿密なフィールドワークをイラスト・写真に凝縮。調べ学習や研究発表に最適なビジュアル・スタディ。暮らしと環境を足もとから科学するビジュアル・スタディ」を標榜する「百の知恵双書」が創刊された。好奇心を刺激する問題設定と、発見が広がる写真や図版を多数収録して、調べ学習や研究発表に最適だ。第1巻「棚田の謎」千枚

アルガリ



高度成長以前の日本の原風景 写真で綴る

昭和30年代 農山村の暮らし

武藤益写真 須藤功聞き書き

6500円

日本が高度経済成長を始める前の昭和30年代初期、敗戦から復興して間もない信州の百姓、武藤益氏は、蛇腹のカメラ「パール3」を手に入れた。そして、家族やふるさと八ヶ岳山麓に、農閑期に鋸の行商に歩いた秩父の人々の日常の暮らしを、巡礼するような心で無心に写し撮った。ナタを腰にさし、背負子を背負い薪を採りにいく少年



このように、たった二枚の絵から地域の歴史、人々の暮らし、農業や工業の発展までが読み取れる。しっかりとフィールドワークの成果が凝縮された図なのである。

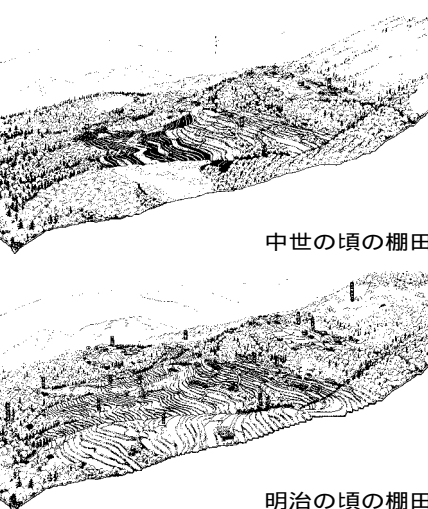
この巻では山の棚田(三重県紀和町丸山)と海辺の棚田(石川県輪島市白米)を隔々まで見て回り、細かな仕掛けをわかりやすく解説した精緻なイラストが、鳥の目になって村全体を見渡す航空写真まで駆使したビジュアルな構成で、第3巻は「目からウロコ」の日常物観察 無用物から転用物まで(野外活動研究會著)。考現学の手法で、各地に今も残る棚田は、



きと作爲なく焼き付けられた。あれからまだ五〇年も経っていないのに、暮らし方も風景もずいぶん変わってしまった。五〇歳以上の方が見れば、当時の自分の懐かしい姿が走馬灯のように甦ってくるだろう。子どもたちが見れば、「これが日本とは思えない、でもみんな貧乏そうなものになぜ明らかならぬ」と思うに違いない。

本書では、21世紀を担うこれからの子どもたちにもわかるよう、民俗学写真家の須藤功氏が、写真の背景を武藤氏から聞き書きし、わかりやすく綴っている。さつと学習」が注目されている。文字ではなく映像の記録は、脳裏に埋もれている昔のことをまろく甦らせる

方・壊され方・捨てられ方を採集する。植木鉢に転用された炊飯器、公共のフェンスを堂々と借用した布団干し、洋装にゾウリの混用ファッション、優等生的なりサイクル論には納まらない庶民のしたたかさが溢れる。今後地域学習や環境学習にピッタリのテーマが多数字予定されているこの双書は、ぜひ1校に1セットそろえたい資料集だ。



中世の頃の棚田

明治の頃の棚田

農文協 人と地球のいのちの営み

農業と人間編

自然の中の人間シリーズ

農業は生きていく三つの本質
農業が歩んできた道 持続する農業
農業は風土とともに 伝統農業のしくみ
地形が育む農業 景観の誕生
生きものたちの楽園 田畑の生物
生きものをつくるハーモニー 作物
生きものをつくるハーモニー 家畜
生きものをつくるハーモニー 農具の知恵
農業のおくりもの 広がる利用
日本列島の自然のなかで 環境との調和

自然の中の人間シリーズ

森川 海という自然のつながりの中で、人間は田畑をつくり、産業を興し、生活と景観をつくってきた。その営みとしての農林水産業の歴史から最新情報までワイド画面のイラストと写真で解き明かす。

農業 土と人間編 全10巻・揃価 21000円

利水 川と人間編 全10巻・揃価 21000円

林業 森と人間編 全10巻・揃価 21000円

漁業 海と人間編 全10巻・揃価 21000円

昆虫と人間編 全10巻・揃価 21000円

微生物と人間編 全10巻・揃価 21000円

サイジュアルサイエンス
農林水産省農林水産技術会議事務局監修、西尾敏彦編
A4変形判・上製、各32頁
各21000円・揃価210000円

工業の原理とは根本的にちがう農業の本質と豊かさ、農耕のしくみと暮らしの知恵。そこから自然と人間の調和を考える。

ご注文は 農文協(社団法人 農山漁村文化協会) 〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 TEL.03-3585-1141 FAX.03-3589-1387 振替00120-3-144478 URL http://www.ruralnet.or.jp/ 価格は税込